

奉納 八番山笠 上川端通

標題 見送り

人形師 田中 勇

正木宗七博多人形献

黒田官兵衛、長政と共に播州から福岡城の鬼瓦の瓦師として博多入りした正木宗七は瓦町(博多)に住み瓦の粘土で人形を作って長政に献上したのが博多人形の初めである。

詳細

黒田官兵衛とともに暮らしを扶けた匠の集団 御用職 松物師 紺屋 白銀屋
畳屋 船大工 大工 亦大工 金具師 瓦師 鉄砲師 研師 切附師 萬細工屋
桶屋 白土屋 柄巻師 萱師 菓子屋 乗物師 表具屋 塗師 弓師 鏡師 象眼師
その中で瓦師七家(播磨者)は黒田家を築城普請と共に優遇された家筋集団であった。
黒田筑前五十二万五石の藩祖となった時に博多の南側に新たに土地を与え『瓦町』と名付けた。そして丁役免除の『祿』を与えられていた。
その鬼瓦の名手として宗七は城瓦の粘土で人形を作り長政に献上したのが博多人形の初めである。その後中の子家、白水家と共に博多人形の祖を築き博多の産物を生み出した。また四代宗七幸弘は聖福寺の仙産和尚とは最も親厚く宗七は陶製の仙産和尚像を作った。博多祇園山笠の祭祥の地でもある承天寺の塔頭である人形堂祥勝院に安置される。大心円願和尚も四代宗七幸弘の作品である。その他数々の寺社に仙像や作品が収められている。

詳しくは

上川端商店街

検索

平成二十五年七月吉日

八番山笠 上川端通

総務 正木 研次

黒田長政

正木宗七



仙産和尚